

そらこめ通信

No.57 2015年4月号

このたびは弊社の米をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。日頃よりご愛顧頂いております皆様にはこの場を借りて厚くお礼を申し上げます。

雪解けが進み、少しずつですが日差しが強さを増しつつあるような気がします。ただ、油断をしていると急な寒気で体調を崩しやすいのもこの時季だそうです。お子様の入学や進学、卒業やお引っ越しなど多忙に追われ疲れがたまりやすい事も原因のひとつかも知れません。皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか？風邪などひいてはいませんか？忙しいこの時季だからこそ、しっかりと休養をとり美味しいものを食べて体調管理に気を配りながら過ごしたいものです。

2月の後半から農場では育苗ハウスの組み立てが始まり、3月後半に全て終わりました。その間、暖かい日が続いたかと思うと、一転吹雪もようの日もあり…。ビニールテントをかけ終えたハウスを急な降雪から守るため、天気予報とにらめっこをしつつ、睡眠不足が数日間続くのもこの時季ならではの事。

本来は冬の季語として使われる言葉で、三寒四温という熟語があります。冬のさなか3日間寒い日が続いたのち暖かい日が4日続くなど、7日周期で寒暖が入れ替わるさまを指す言葉だそうです。主に朝鮮半島や中国北東部などで使われるようになったのが起源とか。春が近づき、暖かくなり始めた頃この言葉を使うのは誤りなのだそうです。でも、厳しい冬が終わりを告げ、一日も早い雪解けを待ち望む北海道民にあっては、この時季にこの言葉を使うのが一番しっくりするような気がします。言葉の使い方は時代と共に変化するもの。大事なことは書き手の想いが読み手に上手く伝わること。東京では早くも開花宣言が出されました。北海道では桜の開花は4月下旬が相場です。桜前線の北上を心から待ち望む今日この頃です。



育苗ハウスの組み立て(2月20日)



この冬最後のもみ殻くん炭製造(2月26日)



くん炭小屋のもみ殻がなくなりました



冬の間製造されたもみ殻くん炭(2月26日)



ハウスの雪下ろしをする社長(2月27日)



ハウス周辺の除雪作業(2月27日)



ハウス周辺の除雪作業(3月2日)



ミニユンボでの除雪(3月3日)



ハウスの組み立て作業(3月4日)



播種作業に使うハウスの組み立て～右の写真に写っている小さな山は播種の際に使う土です(3月5日)



風速計代わりの鯉のぼり(3月5日)



ハウスの雪下ろし(3月12日早朝)



圃場への融雪剤の散布(3月16日)



融雪剤散布中(3月16日)



ハウス周辺の融雪剤散布(3月16日)



育苗ハウス完成(3月24日)

ひと冬かけて製造したもみ殻のくん炭は、4月に行われる播種の際に播種用の土と混ぜ合わせて使うことで、土壌改良剤として優れた力を発揮します。主な効果としては土壌の通気性や排水性を高めるとともに保肥力を高めます。また、土壌中の雑菌を抑制し有用微生物を増やすことから、根張りが良く病気に強い健康な苗の育成に大きな効果があるようです。

今後も、安全で美味しいお米の生産に努めますので、引き続きご愛顧のほどよろしくお願いいたします。

(株)空知こめ工房 ホームページ

<http://www.sorachi-kome.jp/>
ブログ「生産日誌」更新中です

インターネットで美味しいお米!